

ワイシャツの
クリーニングテスト
始めて気付いたこと

平成29年度 TCC総会への報告

平成29年2月15日

3. 購入時のワイシャツ



4. テスト評価項目

	基礎資料	基礎資料とは、購入時（クリーニング前）の資料
重量	g	資料シャツの重量・寺岡デジタル重量計1 / 10 gまで計測
白度	%	Bフィルターによる反射率（%）・東京電飾 REFLECT METER TC-6D
黄変度	%	A-B / G（フィルター）= %
汚染率	%	Gフィルター 洗浄後-洗浄前 / 洗浄前 = %
前立て	mm	台衿からの前立ての長さ・ボタンホール側を計測
首回り	mm	台衿の長さ・台衿の端から端まで
糊強度	mm	接地到達点（計測台からの接地長距離）・ボタンホール裏側にして
汚れ残り	ネック周り	衿汚れが残っているか・目視
	カフス周り	カフスに汚れが残っているか・目視
仕上げ	衿の乾き	キチンとプレスされているか、乾いているか・目視
	前立て乾き	前立ての裏側が乾いているか・目視
	衿の折り方	衿がキチンと折り返されているか・目視
	前立て曲がり	前立てが曲がっていないか・目視
	その他	目視
損傷		損傷箇所は無いか・目視
特記事項		特に気になる事項

5. 計測方法・位置



6. クリーニングテスト始めて気付いたこと
(当事務所近隣6店舗を対象に調査しています)

• 店舗により洗浄・仕上げに差異が大きいこと

① 衿、カフスが乾いていない商品がある

② 衿がキチンと折られていない

③ 前立てが大きく曲がっている

④ カフスの収縮があること

⑤ 毛埃が多く残っていること

⑥ たたみ方が下手なこと

T-1. 乾いていない商品がある

全体的に乾いていない



背中の上部分が乾いていない



原因・要因の推定

- 蒸気圧が不足。→ 5 MPaでのプレスが望ましいとされ、ボイラーの設定圧力を同様に取ると、時に5 MPaを下回る圧力でプレスすることになる。
- 蒸気圧が不足→ボイラー設定圧力は7 MPaのつもりでも、ON⇔OFFの設定で5 MPaでプレスされることがある。
- プレス時間の不足→綿シャツのカラー・カフスは、35秒／程度のプレス時間が必要です。
- トラップの選定ミス。

T-2. 衿がきちんと折られていない



原因・要因の推定

- 作業方法が確立されていない。→衿の折り返しは、作業者が強く意識しないとミスが生じやすくなります。（このための手順、道具、意識を徹底する）
- 作業者の経験不足。→作業手順（無駄のない作業、キチンとした仕上がり）を最優先に教える。作業速度は習熟によって早くなります。
- 作業に対する取り組み方。→作業者はワイシャツを着用経験が無いので、プレスミスに対する意識が少ないのです。意識した作業が求められます。

T-3. 前立てが大きく曲がっています

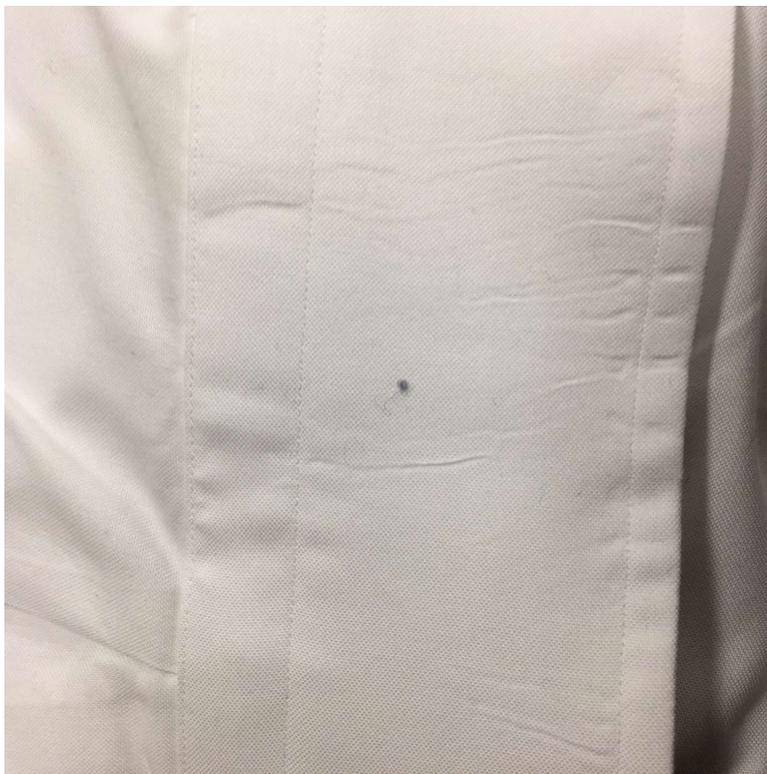


原因・要因の推察

- この原因は胴プレス^oの作業手順ミスです。（胴が絞ってある、小さなシャツは除きます）
- 前立てが曲がる作業手順→①シャツを着せる、②肩を合わせる、③ネックを止める（この時点で前立てはハの字となります）、④前立てを引く。
- 前立てが真っ直ぐになる作業手順→①シャツを着せる、②肩を合わせる、③背中を引く、④ネックを止める、⑤前立てを引く。

T-4.カフスの小皺（収縮）

カフスのシワ、ゴミも付いています そこここにシワが



要因・原因の解説

- カフスのセットミス、あるいは、スプリングマット損傷、または、パッドの消耗、パッドの選定ミスが原因と考えられます。
- カフスのセットミスは次ページを参照ください。
- スプリングマットは長期間の使用により、消耗・破損してきます。また、パッドの消耗、パッドを厚くセットした場合、上ゴテとパッドが正しくプレスされなくなります。

原因・要因と推察；セットミスの例

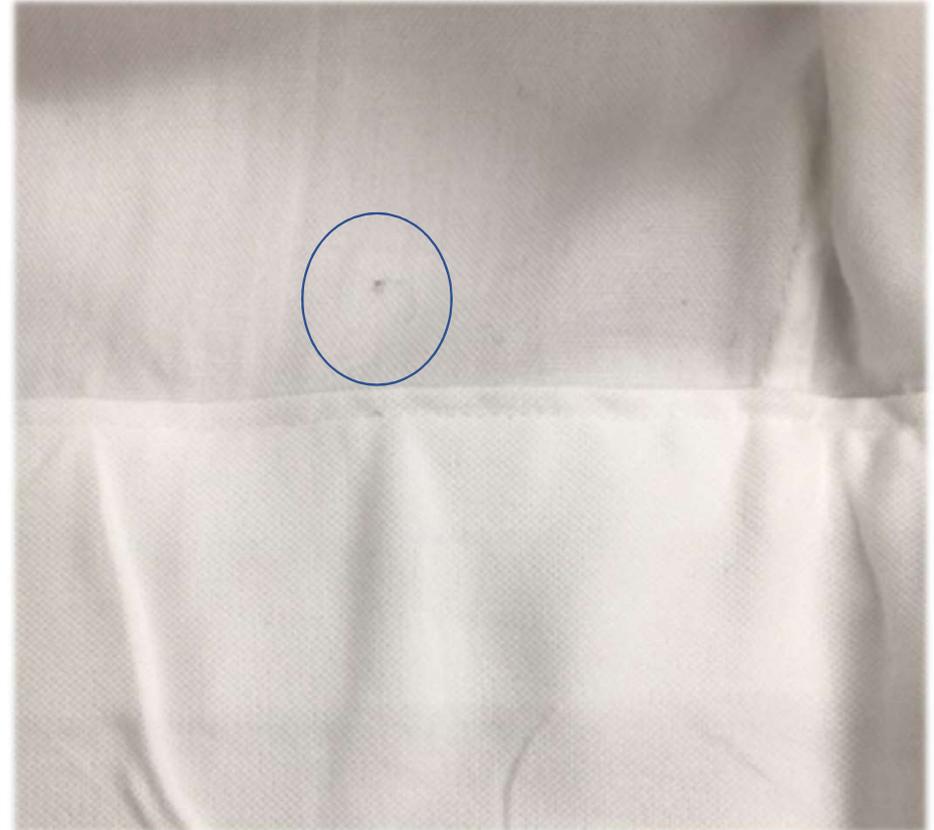
正しいカフスのセット



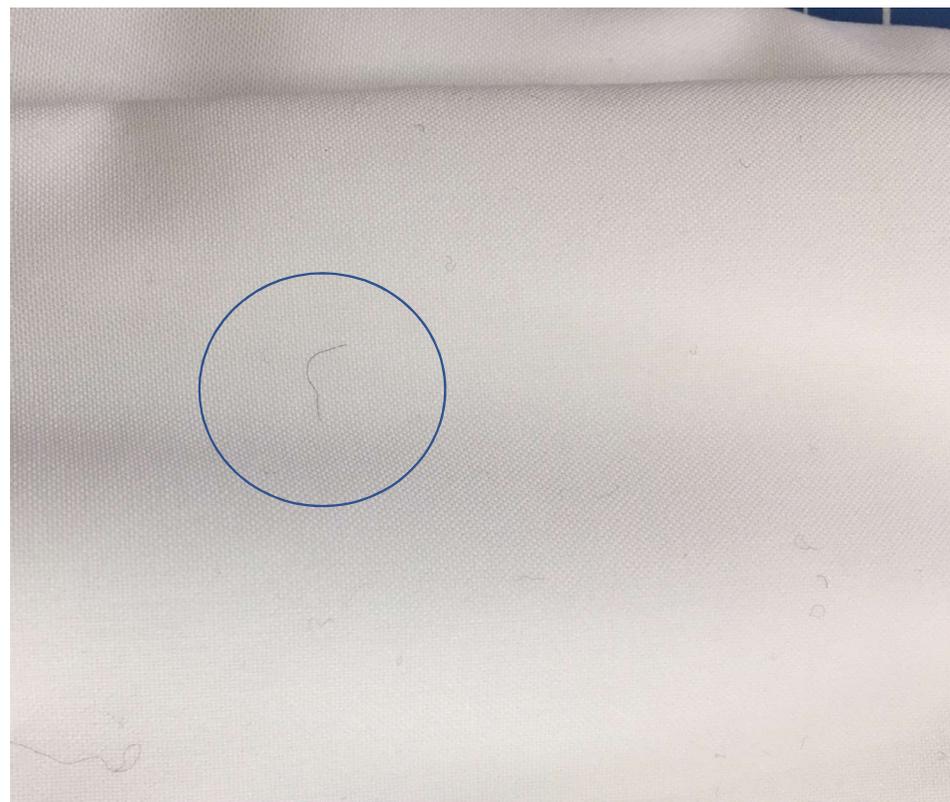
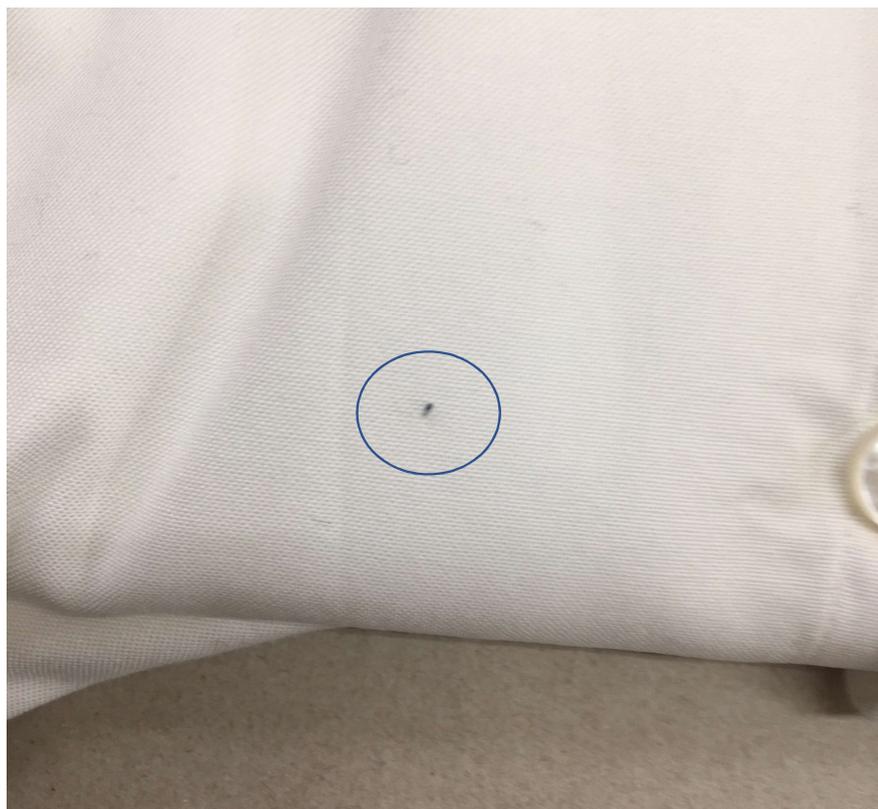
間違ったカフスのセット



T-5.ワイシャツに残る毛埃



5-1.ワイシャツに残る毛埃



原因・要因の推察①

- 先ず要因として、寒くなるとワイシャツの上にニット製品を着用する方が多くなることです。→ 暖かいときと同様の洗浄方法では毛埃（けぼこり）が多く、取り除くことが出来なくなります。
- 普通汚れは、界面活性剤に抱かれ繊維間を抜けて排出されますが、毛埃は大きな汚れですので繊維間を抜きにくくなっています。
- 従って、十分な水を持ってすすぎがなされなくては、この排出は難しいのです。

要因・原因の解説②

- 過負荷→過負荷は、すすぎ時の浴比を悪くし、結果、十分なすすぎ効果が得られなくなります。
- 洗剤量の不足→過負荷、高水位洗浄、洗剤をケチる等から、洗浄力の不足を招くことになります。
- すすぎ回数の不足→すすぎは4回が標準とされていますが、最近はこれを少なくされています。
- 洗浄工程後に強制排水（中間脱水）をされますがこれは、毛埃を繊維間に絡ませることになります。

T-6.プレスミス



要因・原因の解説

•以下の原因が考えられます。しかし、多くの方がシャツの仕上げに携わると思われますので、作業方法の手順の確立、結果への意識付けが大切になります。

- ①作業者のセットミス。
- ②作業手順、注意点の教え方に問題ある。
- ③作業者の仕事への意識の低さ。
- ④作業チェックが出来ていない。

ワイシャツの仕事をチェックしてください

- ワイシャツは洗い、仕上げ、包装等お客様に、仕事の結果がわかりやすい商品であることを忘れないでください。
- ワイシャツの作業には、多くの方が関わることになります。
- 仕事に手を抜かず、確実な仕上げを、共通の認識を持ってするように心がけてください。